

どんびま

2012年8月6日発行

発行者 椀の湖農業小学校

ムクゲ

ムクゲはモクゲともよばれ、アオイ科フヨウ属（ハイビスカスの仲間）の落葉低木である。

8～9月に爽やかな花を咲かせるが、一日花で「槿花一朝の夢」と言うように人の世の儚さのたとえにされるが、次々に咲くので長く咲くように見える。

中国原産で日本には平安時代に渡来した。花の名ムクゲは中国名の木槿の音読みモクキンが変



化したとも、韓国の呼び名ムグンファが変化したものともいう。韓国ではムグンファを無窮花と書き、国の繁栄を意味する花として国花となっている。

暑い夏にも強く、寒さにも強い。庭木に育てやすい逞しさと一日花の儚さを併せ持つムクゲは、夏の茶花としても多く使われる。我が家の池の傍で暑さを和らげてくれる花である。 (草)

8月授業日(椀の湖キャンプ)のご案内 (1)

8月25日(土)～26日(日)	椀の湖オートキャンプ場
参加費 大人・生徒 3000円	幼児 1500円 (1日のみ参加の場合も同料金)
キャンプサイト料金(定員5名)	5025円
別途 貸テント料金	3500円～*要予約
電源使用料	1000円
ウッディハウス使用料(1家族)	10000円

☆ウッディハウスは、申し込み多数の場合(7月の集計では19家族)、1棟に3～5家族一緒に泊まっていただくこととなります。そのつもりでお願いします。貸しテント(数に限りあり)、貸し毛布の申し込みなどあったら、はがきに書いてください

◎ お問い合わせは Tel0573-75-4417 ケイ1090-5110-9362(山内)まで

◎ 返信締め切り 8月18日 厳守

～とくちゃんの農小レポート～

今年の飯盒炊爨（はんごうすいさん）は大成功

梅雨は明けたというのに、はっきりしない天気の中で7月授業は行われ、昼食用の飯盒炊爨はテントの中で炊きあがりました。

- 1 午前の授業。 先ず飯盒炊爨用の米洗いを、各グループ3個の飯盒に2合の米を入れて洗い、米と同量の水加減をしました。畑の作業は、じゃがいも掘りと人参の収穫。
- 2 飯盒炊爨。 昨年は水無しで火に掛けたグループがありましたが、今年は水加減が出来なかったグループ（3G）が有り、そのままとお粥になるところでした。
- 3 昼食。 カレーライス、ポテトサラダ、胡瓜の辛子漬け、トマトの丸かじり。
農小では原則として郷土食または行事食となっていますが、7月はカレーライスでご飯は飯盒で炊きますが、これも食育の一環として万一災害の時などに備えて、ご飯は自分達で賄えるようにと云う配慮からです。またカレーに入っているジャガイモやニンジンなどは農小で採れた物を使用しました。
- 4 カブト虫運動会。 5月に配った幼虫を育てて持参し、木登りの速さを競う運動会が行われました。木登りの途中で解放されて飛び立ってしまうのも有り残念！！
悲鳴とも歓声とも云えるどよめきがあがりました。成績は次の通りです。
優勝 1G杉峰、2位 4G岩田、3位 5G森田 1G斉藤の各選手でした。
賞品としてトマトと玉ねぎが送られました。運動会は8月も有りますので、今回間に合わなかった人は丈夫に育てて持ってきて下さい。
- 5 キャンプの相談。 8月は年間で最も楽しみな1泊2日のキャンプです。
父兄の方は、①前日の遊び（川遊び）などについて、②食事（夜店）の内容について、翌日の③物作り体験の種目についてなど3班に分かれ、各Gの代表により話し合いが行われました。実際の内容についてはスタッフや材料の都合により、変更も有りますので通信「どんびき」で確認してください。
生徒達は、 キャンプの夜に行う「出し物」について、各グループ毎に話し合われました。1Gは「クイズ」、2Gと4Gは合同で「肝試し」、3Gは「ドッジボール」5Gは「宝さがし」と決まりました。グループ長は大変ですがグループ内を良くまとめて、思い出になる楽しい夜となるよう頑張ってください。
- 6 案山子作り。 1家族1体の案山子作りが始まりました。8月の第2日目迄に仕上げで陳列し、全員での人気投票上位と審査スタッフの推薦を得た作品には卒業式に表彰が行われ賞品が出ます。案山子は農小田んぼの脇に立てられ、害獣、害鳥から稲を守ってくれます。他にも被写体としてアマチュアカメラマンに大変人気があり、毎年多くの方が訪れていて、写真コンクール等で良く見かけますので、アイデアを生かした素晴らしい作品を期待しています。

～とくちゃんのちょっと一言～

飯盒炊爨。とても覚えられない程難しい字ですが、要するに飯盒でご飯を炊くと云ことに他なりません。私の子供のころは軍隊帰りの父が持ち帰った飯盒が、山登りやキャンプの時に活躍しました。炊き方は覚えましたが災害などで活躍する事のないよう祈ります。

8月授業日(椈の湖キャンプ)のご案内 (2)

日程① 8月25日(土)

8:30~ 9:00 受付 ☆時間に間に合うように、早めにお出かけください。

9:00~ 9:15 始めの会

9:15~11:00 授業 農作業(白菜の種まき かぼちゃの収穫 草取りほか)

早く終わったら、カブトムシ運動会第2ラウンド
弁当作り、トマトジュース作り ハム作り 夕食下ごしらえなど

11:00~11:30 川上川へ移動(川遊び希望の家族のみ)

11:30 昼食(おにぎり弁当)

~14:00 (自由参加) 川遊び 鱒つかみ

14:00~14:30 椈の湖オートキャンプ場へ移動

14:30 キャンプ場チェックイン

~15:45 宿泊準備 テント設営

15:45~17:00 全員集合。(椈の湖オートキャンプ場広場)

パン作り

夜店(夕食)の準備

パン焼き

17:00~ 夜店開店

18:30~ カブトムシ運動会表彰式 影絵劇

キャンプファイヤー グループ出し物 3G=ドッチボール

5G=宝探し

1G=クイズ

~21:00

2・4G=肝だめし

21:00~22:00 風呂(有料 大人400円 小人200円)

日程② 8月26日(日)

6:00 起床

6:30~ 8:00 朝食準備 朝食 夜店と食事の後片付け

8:00~11:00 農小に移動(ウッディハウスは荷物を搬出し、チェックアウトすること)

(自由参加) もの作り 染め物 Tシャツの絞り染め

木工 虫かご 桧箸 自由課題

布草履(ぬのぞうり)

竹細工 水鉄砲 竹馬 箸 …など

紙すき 牛乳パックでハガキ作り

(希望者に) Tシャツのシルクスクリーン「たがやしひとなる」印刷

※案山子のまだ出来上がってない家族は仕上げてください。

11:00~12:00 後かたづけ 案山子コンクール投票 案山子立て

12:00~12:30 昼食(流しそうめん)

12:30~12:40 終わりの会

★キャンプサイトのチェックアウトは13:00(時間厳守)でお願いします。

★もの作りの終わってない方は、作業を午後も続行していただいてもかまいませんが、後かたづけは責任をもってキチンとお願いします。

☆「川遊び」は自由参加です。それぞれの親さんの責任でもって参加してください。

☆「もの作り」も自由参加です。もちろん、何もしないでボーッとしているのもO.K.

☆Tシャツのシルクスクリーン印刷は特製の「農小Tシャツ」を作ります。

希望する人は、それぞれのサイズの白または色の薄い物を持参してください。新品のものは一度洗濯をして糊を落としてくることをお忘れなく。

【もの作りの持ち物と注意事項】

- ・染物希望の方（先着 50 名）
エプロン ゴム手袋 はさみ ハンガー
染める物（綿のTシャツ1枚 ★一度洗って糊を落としてくること）
- ・木工・竹細工希望の方
大工道具 ナイフ(切出し、肥後の守などの小刀を。カッターナイフは×危険です。)
- ・布草履希望の方
4cm×1.5~2mの布（薄手の木綿など。短い布を継ぎ足してもかまいません）を縦半分に折り、ミシンで真ん中を縫って裏返し1cm幅の紐を20本くらい準備してください。ここまで準備してないととても仕上がりにません。
- ・紙すき希望の方
タオル=2~3枚・さらし又は日本手ぬぐい1枚・新聞紙2日分・アイロン(あれば)
牛乳パックは3日位水につけておき、表面のフィルムを裏表ともはがし、手でちぎって、水と一緒に(水500mlに牛乳パック半分が目安)ミキサーにかけたものを絞ったもの(乾燥させてもよい)を持参して下さい。押し花などあれば最高

★材料準備のため、もの作りの希望コースは必ずご記入ください。ただし、希望が集中した場合は先着優先で変更していただくことがありますので、ご了承ください。
各自の材料の準備、道具、持ち物を忘れないで下さい。

【キャンプの持ち物と注意事項】

- ・食器（バーベキュー用皿・コップ・スプーン・箸・水筒など）
 - ・寝具（シュラフ・タオルケットなど）*貸し毛布あり（200円）要予約
 - ・イス・テーブルセットがあると快適・便利
 - ・懐中電灯・ペンライト（肝試しはペンライトでないと入場できません）
 - ・その他キャンプに必要なもの（虫除けスプレー・懐中電灯・軍手など）
-
- ・夜店はグループごとに担当してもらいます。全員が交代でご協力ください。
 - 1 グループ……フライドポテト・から揚げ
 - 2 グループ……フルーツポンチ・冷奴・サラダ
 - 3 グループ……鱈塩焼き・焼きおにぎり・焼き鳥
 - 4 グループ……イカ焼き・生あげ・フランクフルト（パン作りに使用すれば無し）
 - 5 グループ……焼きソバ
 - スタッフ…… 豚丸焼き、 生ビール(これだけ有料)

「グリーンツーリズム」

前号からつづく

先月23・24日に行われた農業小学校交流会の始まりは、信州大学名誉教授であった故玉井袈裟男先生の大きな働きがあったからだ。

玉井先生との出会いは平成9年のことだった。あぼ兄たちの集落は馬の背のような所で、いつも水不足に悩まされ、水田営農は難しかった。米余りの時代になり耕作放棄地も出始めていた時、この地域を何とかしたいと、80戸の農家が集まって「むらづくり委員会」を設立し、玉井先生の指導をお願いしたのだ。先生は一度の講演だけでなく、事あるごとに立ち寄ってくださった。

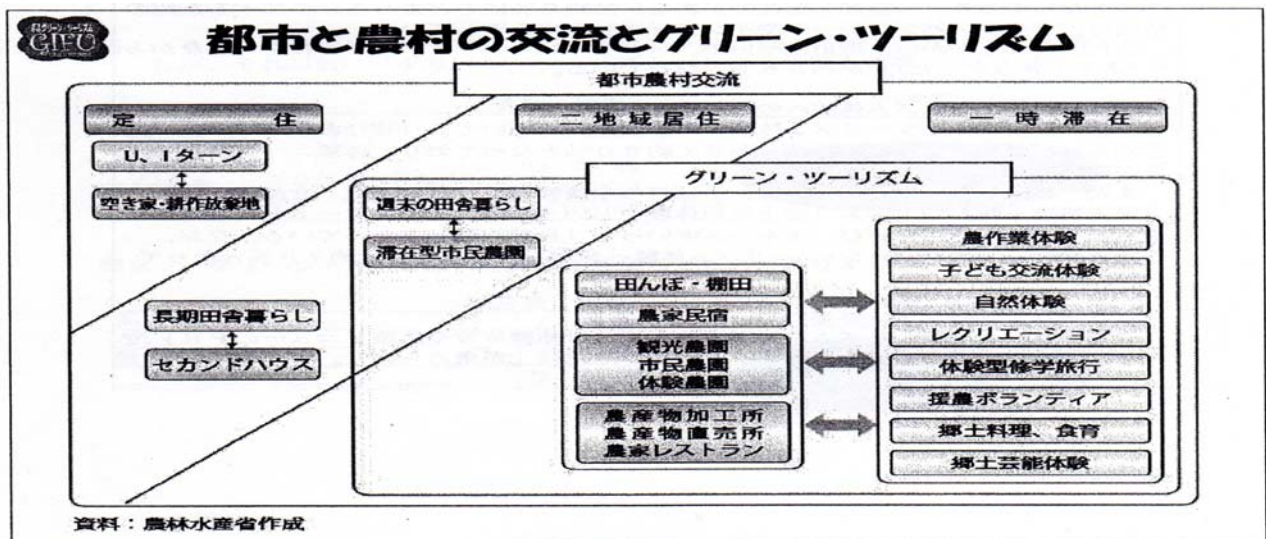
先生が来て下さる時は決まってあぼ兄は運転手・カバン持ちだったので、初めての講演の折、あぼ兄は何も言わないで先生のカバンの外ポケットに農小の卒業文集を入れておいた。すると、後日、むらづくり委員会の後で先生は「ボクを椋の湖農業小学校に案内してほしい」と言われた。むろん直ぐに同行した。

丁度その日は農小の先生方をお願いしていた作業日だった。農小に到着すると10時の休憩時間で、玉井先生の挨拶の第一声は「久しぶりに女学生に会いました。」だった。70代のおばあちゃん先生たちがキャッキョと談笑する姿を見て言われたのだった。

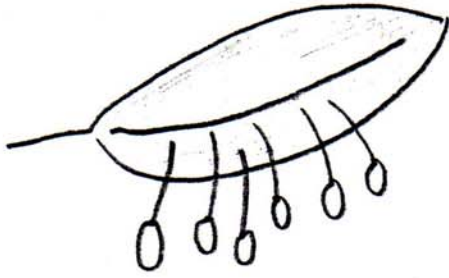
農小からの帰り道、「農業小学校は子どもたちの為だけでなく、農家先生のお年寄りも元気になる素晴らしい集まり(企画)だ。これこそグリーンツーリズムだ」と評価をうけた。

その後、玉井先生は各地から視察団を引率して来られ、その働きかけが実って、高山市荒城農小、松本市桜柿羊の里農小、そして先生の生誕の地須坂市の信州すずか農小の3校が開校した。先生とのグリーンツーリズム構想はさらに広がり、山の学校(木曾福島町)、海の学校(三重県南島町)、里山再生の取り組み(塩尻市)などと、椋の湖農業小学校は畑の学校としてつながりを作っていこうと云うものだった。残念ながら実現はしなかったが、先生の「グリーンツーリズムそのもの」と言われた事をいつも思い出す。

参考に久々野町で行った研修の資料をみると、「一時滞在」の中に椋の湖農業小学校でやっている項目がいくつかある。他に「修学旅行」と「郷土芸能」体験が気にとまる。雨で畑が出来ない時の対策として地歌舞伎の芝居小屋の見学と体験も用意してある。



～かなちゃんの虫日記～



はたけ 火田で、はっは°のうらをよく見て
いと、糸のさきに ^{まる}丸がついた
ふしぎなものを ^み見かけることがあります。
カビ? ^{うちゅうじん}宇宙人のたまご???

いえいえ。クサカゲロウの ^{たまご}卵です。「うとんげの花」と
よばれたりします。インドの伝説で 3000年 ^{ねん}に 1回 ^{さい}咲く
花 ^{はな} ににているらしいです!

^{たまご}卵は ^{しんひつてき}神秘的 なかんじですが、そこから ^{うちゅう}でてくる ^{ぶち}ぶち虫は
^{げんじつてき}現実的 で、とてもくいしんぼうです。アブラムシをたーっさん
たべます。かみついて ^じ汁をすいます。すったぺしゃんこの
アブラムシを ^しとんとん ^{せなか}背中にのっけていきます。
(のっけない種類 ^{しゅるい}もいます。) ゴミみたいに ^み見えてしまいますが、
^よ良いことをしてくれているので つぶさないように。

そして、さなぎ ^{せいちゅう}になって、成虫になると、また ^{しんひつてき}神秘的な
かんじになります。きみとツ色の ^{からだ}体を ^{みずいろ}水色 ^{みずいろ}がかった
きみとツ色の ^いレース ^いみたいな ^{ほね}はねで

おおっいて、かよおい
ようせいみたいです。

とにかく 〇〇〇〇〇〇

この ^{たまご}卵を ^みみたら つぶさないようにしましょう。

